

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

「火山学」の研究に取り組んでいます

「みらい学Ⅰ」の第三弾の取組は「地球科学」です。九月二十六日(水)に京都大学大学院人間・環境学研究所教授の鎌田浩毅先生の特別講義「火山はすごい」を受講しました。



火山の噴火はマグマの中の水蒸気の発泡が原因で起こることや、高温の堆積物中の軽石が堆積物の重みでレンズ状の岩(黒曜石)になることを教わりました。

また、鎌田先生が今年の六月にテレビ番組「世界一受けたい授業」で取り上げられた、富士山の宝永噴火の解説も受けました。ちょ

うど三百年前の宝永噴火は、当時の学者の新井白石の記録では、江戸の町に降った火山灰は最初は白色で、後に黒色に変わったそうです。その記録からマグマが安山岩質から玄武岩質に変わったことが分かったと教わりました。そして、もし富士山が噴火したらマグマや火山灰による直接的な被害だけではなく、交通や情報機器等のトラブルによって東海・関東地方だけではなく日本全国に甚大な影響がでることが予想されているそうです。

また、鎌田先生が阿蘇山の雄大な火砕流台地の風景に感動して、それまで興味のない「火山学」に没頭した経験から、**人間は知的好奇心をもっている**ので、**学問に興味をもつと真面目になる**。興味をもって自分を知りたいと思えば**取り組むとそれまでの十倍以上の能力が発揮できる**。」と教わりました。

自分のことを**「科学の伝道師」**ともおっしゃり、とても楽しい講義でした。

文理科学科の生徒達は、京都府で唯一の火山である夜久野町の田倉山へフィールドワークに行く予定です。

生徒の声

鎌田先生は有名な大学の先生ですがとても気さくな方で、講義はとてもわかりやすかったです。火山についても深く知ることができ、Q&A方式の説明では、火山についてだけでなく、受験勉強の方法なども聞くことができました。大学に進学したら鎌田先生のような講義がもっとたくさん受けられるのだと思うと楽しみです。

綾部中学校出身

鎌田先生のお話はとても楽しく、話を聞く側が自然と集中できるような話し方だったので、難しい「火山学」の講義にも吸い込まれるようになっていきました。

今までは、火山についてはあまり関心をもったことがなかったけれども、もし富士山が噴火したらその被害の大きさや、日本の経済に対する影響を教えてもらい、自分たちも理解しておかなければならない重要なことだと思いました。正しく理解することで、被害を少なくできる(減災)ならみんなにも正しく知ってほしいと思いました。

六人部中学校出身

鎌田先生の話はこれまでもテレビや本で知っていましたが、直接話を聞くことができるととても良かったです。火山について本には書いてないことなども聞くことができ、集中して講義を受けることができました。

鎌田先生はファッションはもちろん、話の内容も個性的な先生で、話していただいたことをこれから生かして行きたいです。

夜久野中学校出身

事前学習

文理科学科の生徒諸君は、鎌田先生の特別講義の事前学習として、テレビ番組「世界一受けたい授業」の中でタレントが行った炭酸水による火山噴火のモデル実験を福高理科教諭の小滝篤夫先生の指導で行い、火山噴火の仕組みを理解しました。



京都府立福知山高等学校
〒620-0857 福知山市土師 650、tel.0773-27-2151
電子メール：fukuchiyama-hs@kyoto-be.ne.jp
ホームページ：<http://www.kyoto-be.ne.jp/fukuchiyama-hs/>